

平成30年度教育事業
幼児からの自然体験活動「あそべ!げんキッズ」



園庭に集まって元気にあいさつした後、園児たちは自然の家から持ってきたつららや雪に触れた。“手がじんじんする”“冷たくて痛いな”と、とてもはしゃいでいた。



1. ねらい

- ・自然にふれ発見したことや感じたことを表現する。
- ・友だちと一緒に、活動する喜びや達成感を味わう。
- ・自然の中で、体を動かすことの心地よさを感じる。
- ・自ら考え自発的に遊ぶ。

2. 実施日

平成31年1月30日(水)

3. 対象

桜井市立三輪幼稚園(モデル園)

4. 参加者

26名(4歳児)

5. プログラム(要約)

モデル園を対象に、「冬」をイメージした運動遊びのプログラムを行った。園庭で、雪を使った「雪玉おにごっこ」や「雪玉のおひっこし」を実施した。

スケジュール

- ・はじめの式
- ・準備運動
- ・運動遊び
- 【雪玉おにごっこ】
- 【雪玉のおひっこし】
- ・おわりの式

次に、「雪玉おにごっこ」を行った。端においてある雪玉を掴んでいる間10秒間はおにに捕まらないというルールで、みんな楽しんでた。

その後、「雪玉のおひっこし」を行った。「おひっこし」の合図で、片方にある雪玉を反対側へ移動させる遊びで、全ての雪玉を“おひっこし”させるまで何度も往復した。雪玉を運んでいる間におにに捕まらないように、一生懸命走って逃げ、汗ばむくらい動き回っていた。



6. まとめ

事業日当日は、気温が低かったが天気は快晴で、冬らしい日であった。園児たちは、自然の家から運んだつららや雪を遊びに取り入れ、「冬」を感じながら楽しむことができた。残った雪でミニ雪だるまを作ったり、お店屋さんごっこをしたりし、自分たちで遊びを考えて楽しんでいた。

これからも、運動遊びが好きになれるようなプログラムを提供したい。

(企画指導専門職 上田 考浩)

平成30年度教育事業
幼児からの自然体験活動「あそべ!げんキッズ」



1. ねらい

- ・自然にふれ発見したことや感じたことを表現する。
- ・友だちと一緒に、活動する喜びや達成感を味わう。
- ・自然の中で、体を動かすことの心地よさを感じる。
- ・自ら考え自発的に遊ぶ。

2. 実施日

平成30年11月8日(木)

3. 対象

桜井市立三輪幼稚園(モデル園)

4. 参加者

年長児 26名

5. プログラム(要約)

モデル園を対象に、亀山への登山を通して、秋の曾爾高原の豊かな自然環境の中、五感を使って自然と関わることで、新たな発見や気づきが得られ、曾爾での体験や経験が身近な自然との関わりにつながるプログラムを実施した。

スケジュール

- ・入所式
- ・登山(亀山)
- ・やまびこ体験
- ・昼食
- ・退所式

夏の宿泊保育で来所してから、4か月ぶりに自然の家にやって来た子どもたち。夏は、亀山峠の往復であったが、今回は亀山を一周するというので、やる気と不安が入り混じった表情をしていた。そにっくんが見送ってくれる中、「行ってきます!」と、元気いっぱい出発した。



出発してすぐ、きれいな穂を出したススキの様子に気付き、「前見た時と全然ちがう」「背高いな」と感嘆の声を上げていた。そして、夏と同様、お亀池前の大きな木からパワーをもらい、亀山を登り始めた。



山頂までの道は、狭くて急な上り坂や歩きにくい岩場があったが、手やおしりを使いながら安全に気をつけ、ゆっくりゆっくりと進んでいった。みんなで声を掛け合いながら、山頂に辿り着いた。すると、夏には会えなかった亀山に住む『亀仙人』が山の下に現れ、「かめせんこーん」と大きな声で呼び、とても喜んでいて。また、みんなで声をそろえて「ヤッホー」と言うと、きれいなやまびこが返って来た。

下山時、森の中を通ると、赤や黄色やオレンジ色に色づいた葉を見ることができた。

自然の家に着いてから、改めて亀山を見ていると、「あんなところ登って来たんや」「がんばったな」と達成感を得ていた。

6. まとめ

夏と秋の曾爾高原や自然の様子を比べることで、これまで以上に自然への関心が高まった。四季によって表情を変える自然の様子に、不思議さや良さを感じることができた。また、登山を通して達成感を得ることで、自分自身に自信がついたり、友だちと一緒に活動する喜びや達成感を味わったりすることができた。

(企画指導専門職 上田 考浩)